

令和3年度

「運営に関する計画」

中 間 評 価

大阪市立高殿南小学校

令和3年11月

大阪市立高殿南小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 国語、算数ともに、漢字の読み書きや四則計算を中心とする基礎的・基本的な内容の定着は図られてきている。しかし、それらの内容を活用して問題を解決したり、自分の考えを根拠や理由を明らかにして書いたり話したりすることに課題がみられる。全国学力・学習状況調査の結果は、おおむね大阪市平均を上回るものの、全国平均を上回る部分が少ない。
- 人権教育の深化・充実と道徳教育の推進、体験的な活動の充実を通して、豊かな心をもった子どもを育成することをめざしている。学級・学年内での交流だけでなく、異学年交流を目的とした全校で取り組める児童会活動の内容の充実を図る。
- なわとび、かけ足、体力向上週間(ミナミンピック)を中心とする体力づくりについては、学校で継続した取り組みを行ってきた成果が表れている。今後、「走る」「投げる」「握る」の運動を中心に、体力・運動能力のバランスのとれた向上を図り、「運動の日常化」をめざしていく。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 道徳において、「自他の生命の尊重」「親切や思いやり」「規範意識」に重点をおいた指導を行うとともに、多様な体験活動を通して、豊かな心を育て、ともに育つ集団づくりをすすめる。その結果として、いじめの発生状況を減らし、解消した割合を毎年95%以上にし、新たに不登校になる児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- きまりや約束を守ることの大切さを、学校全体で重点的に指導を行う。その結果、小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的な割合を毎年85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 自分の思いや考えを表現し交流する力を育てる指導を行う。また、言語活動の充実や読書活動の推進に取り組むとともに、ICT機器を活用する力を伸ばす。その結果として、全国学力・学習状況調査や小学校学力経年調査における平均正答率で、大阪市平均を上回ることができるようにする。
- 日常的な外遊びを通して「運動の日常化」をめざし、「運動することが好き」と回答する児童を増やし、全国体力・運動能力・運動習慣調査において、「走る」「投げる」「握る」力や「柔軟性」を前回の調査結果よりも向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を 85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 校内児童アンケートにおける「自分や他の人を大切にしようと考えている」「生き物や自然を大切にしている」の項目について「そう思う」と答える児童の割合を前年度（81%、82%）より向上させる。
- 校内児童アンケートにおける「みんなと協力して楽しく活動している」の項目について、「そう思う」と回答をした児童の割合を前年度（74%）より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が、市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が、市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度よりも増加させる。
- 令和元年度の全国体力・運動能力・運動習慣調査において、特に課題であった長座体前屈と握力の平均の記録をそれぞれ 0.2 ポイントずつ向上させる。

学校園の年度目標

- 校内児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と回答した児童の割合を前年度（64%）より向上させる。
- 校内児童アンケートで「手洗いをきちんとしていますか」の項目について、「そう思う」と回答した児童の割合を前年度（88%）より向上させる。

※校内児童アンケートによる年度目標は、「どちらかといえばそう思う」は含めない。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立高殿南小学校 令和年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【2つの最重要目標】</p> <p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を85%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○校内児童アンケートにおける「自分や他の人を大切にしようと考えている」「生き物や自然を大切にしている」の項目について「そう思う」と回答した児童の割合を前年度（81%、82%）より向上させる。</p> <p>○校内児童アンケートにおける「みんなと協力して楽しく活動している」の項目について、「そう思う」と回答した児童の割合を前年度（74%）より向上させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>学級で「学校のきまり」「学校安心ルール」を用いた指導を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝会指導や看護当番の引き継ぎで、週に一回程度、「すすんであいさつをする」「服装を整える」の状況について周知する。 ・学期に1回、学級で「学校のきまり」「学校安心ルール」を使って、約束やルールについて指導する。 <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の「あいさつ運動」の取り組みにより、特にその期間内はよいあいさつ「元気のよい・相手の目を見て」ができています。 ・夕会において看護当番の引継ぎが行われており、特に、あいさつ、遅刻、服装の状況について共通理解がなされている。 ・定期でまた必要に応じて適宜学校のきまりについて指導してきている。 <hr/> <p>改善点など</p> <p>毎月生活目標にあげられるものは、常時意識できるようにさせたい。</p> <p>服装についても男子でシャツがズボンの外に出ている児童が目立つ。上着の扱いも含めて、身だしなみについても意識させたい。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>道徳の教科書を使って指導する内容項目について深く考えることができるよう、話し合い活動や書く活動を取り入れて、道徳の授業を充実したものにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習など、多様な指導方法を取り入れた道徳の授業づくりを進める。 ・道徳の校内研修を年間1回以上実施する。 <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年指導計画に基づき、ねらいを達成するために教科書を用いて授業を行っている。道徳ノートに書いたことをもとに、考えが深まるようにペア・小グループ・学級全体での話し合い活動を取り入れたり、児童の発達段階によってロールプレイを取り入れたりする授業実践ができています。 <hr/> <p>改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学級活動や総合の学習で人権学習などに絡める必要がある。 	

<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>林間学習など自然と関わる体験活動を実施し、子どもに自然愛護や協調性、思いやりの心を育てる。</p> <hr/> <p>指標 ・各学年、ねらいに応じた様々な体験活動を工夫し、年間1回以上実施する。</p> <hr/> <p>進捗状況</p> <p>各学年、ねらいに応じて生活科・理科・総合的な学習の時間に、学習園での栽培活動(野菜や米)や生き物の観察、一人一鉢や委員会活動(花菖蒲の栽培)を実施している。</p> <p>また、秋の遠足では秋見つけ・動物の観察などの校外活動によって、自然とのかかわりや生命の尊さを感じるなど協調性・思いやりのある心を育てることをねらいとしてきた。</p> <p>林間学習については、5年生は延期、6年生は中止となってしまったが、6年生については代替え活動を設定し、実施予定である。</p> <hr/> <p>改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ねらい」と事後の「振り返り」を大事にしていく。 ・行事の取り組みの実施・中止・延期などの判断をわかりやすくする。 	B
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>人権教育読本や資料等の活用、体験活動などを通して、集団育成や障がいのある児童とともに学びともに生きる取組、平和を願う取組、隣国のことを知る取組などを進める。</p> <hr/> <p>指標 ・校内人権教育実践交流会において、全学級の取組を報告し、旭区人権教育実践交流会の分科会において、実践報告を行い取組について交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験等の体験活動や外部の人材を招聘した学習を年間1回以上実施するとともに、<u>広島への修学旅行</u>など平和学習に基づく取組を継続的に行う。 <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も旭区人権教育実践交流会は中止となったが、今後、校内で本校や区内校の実践交流会をもち、取組について交流し、研修する予定である。 ・車いす体験が計画通り実施され、足の不自由な人の立場になって学習することができた。また、広島への修学旅行に合わせて各学年で読書や資料映像などをもとに、平和学習に取組むことができた。折り鶴を折る活動や折り鶴集会を通して、それらの意味を知り、平和への祈りを持つことができ、全校をあげた取組みとなった。また、6年生にとっては、集会などで各学年からの戦争と平和にまつわる質問を受け、目的と責任を持った修学旅行となった。 <hr/> <p>改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後6年生からの報告会をもつことで、より充実した取組みになるようにする。 ・実践後学んだことの日常化を進め、事後を大事にしていく指導をする。 	B

取組内容⑤ 【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 わたしたちが住む町や旭区、郷土大阪の歴史や文化にふれる体験学習を実施する。	B
指標 ・学年の指導内容に応じて、大阪の社会教育施設、公共施設の見学や、町たんけん、公園たんけんを実施する。	
進捗状況 前期はコロナの影響や緊急事態宣言により、実施できなかったが、10月よりそれらの活動が可能になったため、順次実施することができ、これからも実施予定である。	
改善点など 校外活動の記録を残して次年度につなげていく。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立高殿南小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【2つの最重要目標】</p> <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における正答率が、市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における正答率が、市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度よりも増加させる。</p> <p>○令和元年度の全国体力・運動能力・運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈と握力の平均の記録を前年度よりそれぞれ0.2ポイントずつ向上させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○校内児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と回答した児童の割合を前年度（64%）より向上させる。</p> <p>○校内児童アンケートで「手洗いをきちんとしていますか」の項目について、「そう思う」と回答した児童の割合を前年度（88%）より向上させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>「交流を通して、読んだことを共有し、深い学びに向かう国語科の授業づくり」の研究副主題のもと、<u>思考力や言語能力を育むことをめざした連続性のある授業研究を推進する。</u></p>	
<p>指標 ・国語科の全体授業研究会を各学年1回実施し、国語科学力向上推進校としての授業実践を積み重ね、教員の指導力・授業力の更なる向上を図る。</p>	
<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究副主題に基づき、各学年1回の国語科の全体授業研究会が計画通り行われている。学力向上推進指導室の先生から指導を受けながら連続性のある研究を積み重ね、研究討議会では活発な交流を通して次へつながる成果や課題が明らかにされ、教員の指導力・授業力の向上につなげている。 児童の発達段階に応じた内容で、しっかりと交流を通した学びができている。道徳や様々な教科でも交流を軸に考えを共有したり深めたりしている。 思考力や言語能力を育むため、单元ごとでつきたい力を明確にし、学んだことを積み上げていくことができるように取り組んでいる。 	
<p>改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数で1本の研究授業にたずさわると、授業者任せにならず共に学ぶ機会になってなおよいのではないか。 今の取り組みが他教科にも生きているので良いと思う。 内容の読みにつながる「音読指導」の場、「話す」場面の確保に努めたい。日々の積み重ねを大事に一人ひとりが向上するように育てたい。 	B

<p>取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>健康週間の実施や「ほけんだより」などの活用とともに、生活健康調査（アンケート）を実施し、「身体を清潔にする」の習慣が身に付くようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健年間計画の保健目標に基づいて、「ほけんだより」を月1回以上発行し、生活健康調査を年3回実施する。 ・学校保健委員会について、テーマを設定して年1回実施する。 <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健年間計画の保健目標に基づいて「ほけんだより」を発行し、学級指導や学級掲示物として活用できている。また、生活健康調査を計画的に実施することで、自分の生活を振り返り、改善するきっかけとなっている。 ・学校保健委員会は、「食育・朝食」がテーマで11月に実施予定である。 <hr/> <p>改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手洗い」のアンケート結果が目標に近づいてきている。声掛けを継続して、自主的にできるよう習慣化を目指す。 ・風邪様疾患が流行する冬に向けて感染症予防を続けていくとともに、家庭への啓発も続けていく。（換気・消毒・検温確認・ハンカチ・マスク携行など） ・コロナ禍における活動内容の共通理解（できることを見極め実践していく。） 	B
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>国語科を中心に生活科、社会、理科、道徳などの教科や総合的な学習の時間で「書く」「話す」活動を多く設け、自分の思いや考えを書いたり話したりする力を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介カードや新聞、ポスターづくりなどの書く活動、討論、スピーチ、発表会などの話す・聞く活動を各学年、毎学期2回以上実践する。 ・全学年で「学習教材データ配信プリント」や「ふりかえりプリント」等を個に応じて活用する。 <hr/> <p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科を中心に算数や理科でもノートに自分の考えを書き、グループや全体で交流する学習を積み重ねてきている。 ・スピーチや発表会、ポスターや壁新聞、リーフレットづくりなどを積極的に取り入れ、「話す・聞く」「書く力」を養うようにしている。 ・「学習教材データ配信プリント」や「ふりかえりプリント」を授業や家庭学習に利用している。 <hr/> <p>改善点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気づかせる」授業の組み立てをもとに、発言を促す。 	B

取組内容④ 【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 英語に親しみ、「聞く」「話す」「書く」「読む」言語活動を通して、コミュニケーションを図る指導を充実する。 プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための指導に取り組む。	B
指標 ・全学年で週2回 15分の「英語モジュールタイム」に取り組む。 ・英語、英語活動の指導力向上のために、年間1回以上の校内研修を実施する。 ・プログラミング教育の指導の充実を図るために、年間1回以上の校内研修を実施する。	
進捗状況 ・英語モジュールタイムに取り組み、英語の楽しさにふれながら、リスニング力やコミュニケーション能力を高めることができつつある。 ・英語、または英語活動の指導力向上のための校内研修は、実施された。英語部の研究授業は、11月19日に行う予定である。 ・プログラミング教育の校内研修は、ICTアシスタントと担当者間で連携し、今後実施予定である。	
改善点など ・モジュールタイムの進捗状況	
取組内容⑤ 【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 運動量を確保した体育の授業を工夫するとともに、各学年に応じて工夫したがんばりカードの活用や「ミナミンピック」、運動強化週間の実施により体力づくりを行う。	B
指標 ・「走る」「投げる」「握る」運動を取り入れた全校体力向上週間「ミナミンピック」を実施する。 ・「走る」「握る」運動能力や持久力、体の「柔軟性」を高める体育科授業の充実を図る。	
進捗状況 ・計画的に「ミナミンピック」が実施できており、体育科の学習でも学習カードを活用し、児童の運動に対する意欲の高揚や運動能力の向上を図ることができている。 ・準備運動やストレッチで「柔軟性」、遊具や器具を用いた運動で「握る力」、リレーやフラッグフットなどの競技で「走る力」を高めることができている。	
改善点など 「握る力」は鉄棒やのぼり棒、うんていの学習以外ではなかなか伸ばしにくいので、準備運動の中でぐーぱー体操や固定遊具を用いたサーキット活動を意識的に取り入れていくことが必要である。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	